



11月のキッズクラブのご案内

要予約 『作って遊びましょう』（作品展を見ましょう）

- ★紙コップとビニール袋、ストローを使ってできる手作りのおもちゃを親子で作って楽しみましょう。
- ・開催日…11月13日（月） 午前10時30分開始
- ・11月10日（金）までにお申し込み下さい。
- ・材料、用具は園で準備します。
- ・できあがって遊んだ後は、『作品展』の展示をご覧下さい。これまでの園生活の中で描いてきた絵や年齢ごとのテーマに沿った個人制作など、子どもたちの作品を間近で見いただくことができます。

要予約 『親子運動遊びすくすくクラブ』

- ・開催日…11月29日（水） 午前10時30分開始
- ★毎回大変ご好評をいただいている清水先生の運動遊びです。親子のコミュニケーションを深める良い機会ですのでぜひご参加下さい。
- ・参加費無料
- ・11月27日（月）までにお申し込み下さい。
- ・対象…来年度年少組に入園、進級の親子のみなさん（2020年4月～2021年3月生まれ）のお子さんです。
- ・幼稚園、保育園に在園の対象年齢の親子のみなさんも参加される場合があります。
- ・持ち物…お茶、上靴。

要予約 『11月のお誕生会に参加しましょう』

- ★保育園のお友だちと一緒に遊戯室でお祝いしましょう。
- ・開催日…11月30日（木）午前10時15分開始
- ・対象…キッズクラブに登録されている11月生まれのお子さん。
（未登録で参加ご希望の方はぜひご連絡下さい。）
- ・プレゼントはアンパンマンの手作りフォトカードと記念写真、キラキラの冠です。どうぞお楽しみに♡

★申し込み電話番号…65-3210（妙高こども園）
★申し込み後、ご都合でキャンセルされる場合は必ず園へご連絡をお願いします。



♡子育て相談について♡
妙高こども園では、随時**子育て相談**を受け付けています。子育てで相談したいことなどがありましたらお気軽にご連絡ください。
電話…65-3210(妙高こども園)



子育てワンポイント★生活習慣の「困り事」どうする？★

0歳児

0歳児は関わってくれる大人が自分の気持ちを無視して強引に進める人が自分の気持ちを大事にしてくれる人かを見極める力を持っています。例えば、おむつを替える前や食事の前などに、いつも「おむつを替えてもいい？」「そろそろミルクにしようか？」と目を見て声をかけてもらっていると、自然と「この人はどんな時も自分の気持ちを聞いてくれる」「気持ちを無視して何かされることはない」という感覚が育ちます。この安心感が持っていると生活習慣が身につく土台ができていきます。

＜オムツ替えOK対応＞
0歳児の遊びは集中していても15分程度です。遊びの区切りを見計らって「〇〇ちゃん楽しかったね、そろそろオムツを替えようか」と共感の気持ちを添えて声をかけましょう。

＜オムツ替えNG対応＞
後ろから突然抱き上げたり、急にオムツ替えをしたりすると『いつも突然何かをされる』と言った警戒心で不安になり、激しく泣くことがあります。

1歳児

1歳児は生活のあらゆる場面で「これは嫌だ」「こうしたい」といったこだわりや意思表示がはっきりしてきます。「～だからしたくない」など、理由やこだわりの訳を持っています。そのような気持ちを大人に受け止めてもらえると安心するので、こちらの言葉にも耳を傾けるようになります。そして少しずつ状況を理解できるようになってきます。待ってくれる大人からは『待てる子ども』が育ちます。こだわりを理解してくれる大人からは『子どもの意欲』が育っていきます。

＜着替えをしたくない時OK対応＞
大人は結果を急ぎがちになるとありますが、どっしり構えてどうしたら気持ちがそちらへ向くか工夫してみましょう。大人には『困ったこと』も、子どもの気持ちになることが大切です。そしてそれをユーモアで受け止めて返せると、困ったことが笑い話になって子どもが先に進めることがあります。

＜着替えをしたくない時NG対応＞
「着替えなければ食べられない」「着替えなければ食べなくていいよ」よといった強制的な言葉は子どもの主体性を育ちに大きくしてしまいます。

2歳児

1歳児の時に『やらない』も『やりたい』も受け止められ、快適に暮らすための関わりをていねいにされていると、2歳児頃には、やらされるからではなく、自分で確信をもってできることをやるようになります。ただ、自分のことよりも友達の世話をしたい子がいたり、消極的な子がいたり個人差も大きくなります。自分でできない時は『急がなくても大丈夫』と大人に援助してもらったり、友達とトラブルが起きた時はどうしたら良いかを一緒に考えてもらったりすることで、自信につながっていきます。

＜友だちのお世話をしたくて出しゃぼってしまい泣かせてしまったときのOK対応＞
大人と一緒に友達の様子を見守ることで、自分に『～したい』という気持ちがあるように、友達にもしたい気持ちやしたくない気持ちがあることに自らが付きます。また、「できない」という子にはできないことをがんばってやらせようとするよりも、良いところを認め安心して楽しくその子らしさを発揮させてあげましょう。

＜友だちのお世話をしたくて出しゃぼってしまい泣かせてしまったときのNG対応＞
良い、悪いとジャッジしたり無理に謝らせたりすることで、その子の良さや主体性を否定することになります。形だけ謝らせてもなぜ謝らなければならなかったのかわからないままで、相手の気持ちにも気づけません。